

< 報告事項 >

1 東京文化財ウィーク2025企画事業の実施について

毎年10月から11月にかけて実施される東京文化財ウィークの町田市内の企画事業は、以下のとおりです。

【企画事業】

- (1) 自由民権資料館企画展「町田とお殿さま-江戸時代の領民と領主-」（詳細は項目2参照）
- (2) 講演会「敷石住居址研究の100年」（詳細は項目5参照）

2 自由民権資料館企画展「町田とお殿さま-江戸時代の領民と領主-」の実施について（別添チラシ）

【概要】江戸時代の初めから明治初期にいたる260年余にわたる旗本と知行所の人びととの関係の移り変わりを、市域に残された貴重な史料を通じて紹介します。

【期間】前期：10月4日（土）から11月9日（日）

後期：11月15日（土）から12月21日（日）

【会場】展示室1

【関連企画】

（1）記念講演会

①「旗本知行割にともなう分郷と村びと」

日時：10月25日（土）14時から16時

講師：小林風（当館学芸員）

会場：国際版画美術館講堂

来場者数：45人

②「旗本家臣と多摩地域の村役人たち」

日時：12月7日（日）14時から16時

講師：野本禎司（開智国際大学教育学部准教授）

会場：国際版画美術館講堂

（2）フィールドワーク「市内のお殿さま関係史跡をめぐる」 ※各回とも定員20名

① 高ヶ坂・小川・金森・原町田方面（全行程約10km、健脚な方向け）

日時：11月2日（日）9時から13時30分

参加者数：18人

② 成瀬方面（全行程約6km）

日時：11月30日（日）9時から12時30分

（3）担当学芸員による展示解説

前期3回、後期3回実施

（4）お家の家紋をしらべて、特製缶バッジをつくろう

前期2回、後期2回 缶バッジ作り体験を実施（対象は中学生以下）



3 「矢部八幡宮獅子舞を体験しよう」の実施結果について(別添 矢部八幡宮獅子舞紹介パネル)

【概 要】忠生子どもフェスティバルにて、町田市指定無形民俗文化財「矢部八幡宮獅子舞」保存会による獅子舞の実演、矢部八幡宮獅子舞の概要及び保存会の活動紹介パネルの展示、「御幣(ごへい)」作り体験を行いました。

【日 時】10月19日(日) 10時から17時

【会 場】忠生市民センター

【結 果】ブース来場者:139人 御幣づくり:14人



4 日本石仏協会「石仏談話室」報告について

【概 要】町田市内における道祖神の分布やその特徴を踏まえ、2024年度に町田市登録有形民俗文化財に登録された天狗型道祖神について報告しました。

【日 時】10月11日(土)13時から17時

【会 場】明治大学駿河台校舎研究棟 4階第2会議室



5 講演会「敷石住居址研究の100年」の実施結果について(別添チラシ)

【概 要】国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡にて、日本で初めて縄文時代の敷石住居が発見されてから今年で100年を迎えることを記念し、高ヶ坂石器時代遺跡整備に長く関わっていただいた山本暉久先生に、敷石住居の研究についてご講演いただきました。

【日 時】11月1日(土) 14時から16時

【会 場】町田市立国際版画美術館 講堂

【来場者数】 58人

6 町田市考古資料室特別開室「まっくうに会いにいこう！」の実施について(別添チラシ)

【概 要】学芸員が一日在室して来場者の質問にお答えするほか、触れる土器や石器のコーナーを用意し、グッズの販売も行います。また、まちだ縄文キャラクター「まっくう」Instagram アカウントのフォロー画面を表示いただいた方に、「まっくうステッカー」をプレゼントし、まちだの歴史の普及を図ります。

【日 時】11月15日(土)10時～16時

7 「旧荻野家住宅で能 Know!」の実施について

【概 要】10月11日(土)から11月30(日)まで開催中の町田薬師池公園四季彩の杜の「秋遊び2025～来て、見て、体験して、誰かに教えたいくなる Days～」の関連イベントとして、町田市在住の金春流能楽師・井上貴覚氏による、能にまつわるお話と体験と鑑賞ができるイベントが、東京都指定文化財「旧荻野家住宅」で行われます。



【日時・会場】11月16日(日)

14:00～野津田薬師堂 能の基本のお話と謡(うたい)の体験

18:00～旧荻野家住宅 能の秋の演目「猩々(しょうじょう)」の仕舞の披露

8 文化財修繕等の進捗状況について

(1) 国重要文化財「旧永井家住宅」耐震診断

【概要・進捗】(株)文化財保存計画協会に委託し、8～9月にかけて、構造調査や地盤調査等の現地調査を実施しました。

【予 定】各種調査結果を基に解析を実施し、耐震診断を完了します。また、次年度以降の耐震補強計画案策定に向けて、文化庁や東京都と調整を行います。

12月頃 文化庁調査官の現地視察

3月 耐震診断完了



(2) 東京都指定史跡「青木家屋敷」オチャバ修繕

【概要・進捗】史跡の構成要素である「オチャバ」の背面側へ傾斜が確認され、雨漏り等による部材の腐食も進んでいることから、建物の保全を図るため、補強・修繕工事を実施します。9月5日に青柳委員、大野前委員、(株)文化財工学研究所担当者と現地立会い調査を実施し、工法の検討を行いました。

【工 法】部分揚屋をして傾斜の修正を目指し、添え柱・筋違を設置して補強する予定です。屋根は、既存の波板鋼板を残し、垂木・野地板でかさ上げし新規波板鋼板を打つほか、破損が激しい箇所は添え木補強を行います。

【予 定】11月 工事着工

3月 工事完了



(3) 東京都指定有形文化財「妙福寺祖師堂」手すり設置

【概要・進捗】管理上の安全性の確保のため、階段(片側)に手すりを設置するものです。

【予 定】 11月上旬 工事着工

